

国語科学習指導案（3年4組）

令和3年6月17日（木曜日）14:45～15:35 3年4組教室

1 単元 物語の設定に着目して読み、「私」を解説する文章を書こう（教材名「私」）

2 単元の目標

- (1) 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。
- (2) 文章を批判的に読みながら、文章に表われているものの見方や考え方について考えることができる。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。

3 単元設定の理由

(1) 教材観

①単元の価値

本単元は、物語の設定に着目して読み、「私」を解説する文章を書くことを通して、登場人物の設定や物語の展開の意味を考え批判的に読む力を高めていくものである。

登場人物の設定を整理する活動では、登場人物の個人データに対する考えを比較することを通して、情報を受信する際にも発信する際にも、その情報の事実関係や裏付ける根拠に気を配るといった、情報の信頼性についての確かめ方を理解し使う力を高めることができる。文章を批判的に読み進める場面では、根拠となる部分を基に考えたことを伝え合うことを通して、作品の価値について論じたり登場人物と自分の考え方の違いを考えたりする力を育成することができる。

②単元の系統性

- ・第1学年の「音を追いかけて」では、登場人物の行動や情景描写を基に、場面ごとに揺れ動く登場人物の心情の変化を捉える力を身に付けてきた。
- ・第2学年の「タオル」では、登場人物の言動の意味に着目して、「タオル」について語り合うことを通して、登場人物の言動が話の展開にどのように関わっているかを考える力を身に付けてきた。

(2) 生徒観（男子17名、女子17名 計34名）

- ・知識・技能については、構成を考えて主張を書く学習において、主張の根拠となる事柄に対する情報源を書籍やwebページを用いていた様子から、情報の信頼性の確かめ方を理解し使う力が十分に身に付いていない様子が見られた。これは、同じ事柄に対する複数の情報源から収集した様々な情報を照らし合わせながら確認する活動が十分ではなかったからだと考えられる。
- ・思考・判断・表現については、「なぜ物語が必要なのか」の教材において、生徒のワークシートや振り返りの記述から、随筆の特徴に着目して文章を読み、書き手の工夫を捉える力を身に付けている。これは、二つの随筆を比較し、それぞれの文章の共通点や相違点を考える活動を設定したからである。しかし、「字のない葉書」の教材において、人物の設定や物語の展開の意味を考える力が十分に身に付いていない生徒が見られた。これは、登場人物や物語の展開と書き手が伝えようとしていることを結び付けて考える機会が十分ではなかったことが原因であると考えられる。

(3) 指導観

- ・初発の感想をデジタルのアンケートで集約し、文章への理解度や文章の疑問点を全体で共有することで、単元の課題を学級全体で簡明に設定することができるようにする。
- ・ロイロノートのベン図を用いて登場人物の人物像を整理することで、三人の登場人物の性格や特徴について、文章中の叙述や人物の関係性を確かめながら捉えることができるようにする。
- ・どの登場人物に共感するのかを Google スライドの共有シートに名前を表すことで、それぞれの人物の情報に対する捉え方の違いなどから、作者が読者に何を考えさせようとしているのを捉えることができるようにする。
- ・「設定」という学習用語を意識して文章を再読する活動を設定することで、文章を対象化して書き手の意図や作品の価値について論じる力を育成することができるようにする。

4 指導と評価の計画 国語 3年

単元「物語の設定に着目して読み、「私」を解説する文章を書こう」（全5時間計画）

目標		(1) 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 (2) 文章を批判的に読みながら、文章に表われているものの見方や考え方について考えることができる。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。					
		本単元における言語活動： 物語の設定に着目して読み、「私」を解説する文章を書く					
評価規準	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ		「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表われているものの見方や考え方について考えている。C(1)イ		粘り強く物語の設定の仕方に着目して読み、今までの学習を生かして、解説する文章を書こうとしている。		
過程	時間	◎目標・課題		○学習活動	重点	記録	備考
つかむ	1	◎「私」を読み、登場人物や場面の様子を整理することを通して、物語に対する自分の意見をもつことができる。		○「私」を通読し、登場人物や場面を整理する。 ○前半部と後半部の出来事を整理し、「私」「若い女性」「女性司書」の言動を確認する。 ○物語に対する自分の考えをまとめ、タブレット端末に入力する。 ○文章への理解度や文章の疑問点を全体で共有し、クラス全体で単元の課題と言語活動を設定する。			本時はC(1)アに基づいて学習状況を捉え指導を行うが、単元の目標としていないことから、本単元の評価には含めない。
		「私」を読み、登場人物や場面の様子を整理し、物語に対する自分の意見をもとう。					
		単元の課題： 物語の設定に着目して読み、「私」を解説する文章を書こう					
追究する	1	◎三人の登場人物の性格や特徴を整理することを通して、文章中の叙述や人物の関係性を確かめながら読むことできる。		○個人で三人の登場人物の特徴や性格を考え、ロイロノートのカードに記入する。 ○カードを全体で共有し、それぞれの登場人物の人物像について整理しながらまとめる。 ○登場人物の人物像をタブレット端末のシンキングツールで整理し、登場人物同士の共通点や相違点を明らかにする。	知	○	知：ワークシート 行動観察 ・三人の登場人物の性格や特徴について、文章中の叙述や人物の関係性を確かめながら捉えることができる。
		「私」「若い女性」「女性司書」の性格や特徴は何だろう。					

追究する	1 (本時)	<p>◎「私」「若い女性」「女性司書」の特徴的な相違点や共通点に着目し、それぞれの人物の設定にはどのような意味があるのかについて考えを交流することを通して、作者が読者に何を考えさせようとしているのかを捉えることができる。</p> <div data-bbox="261 461 699 573" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>作者は登場人物の設定を工夫することで読者に何を考えさせようとしているのか。</p> </div>	<p>○三人の登場人物の相違点や共通点を整理し、登場人物の設定の意味を考える。</p> <p>○情報と個人の関係の捉え方の違いを考え、それぞれの登場人物がどのような人物として設定されているのかを捉える。</p> <p>○どの登場人物に共感できるのかをGoogleスライドを用いて表現し、全体で互いの考えの理由を共有する。</p> <p>○作者が読者に何を考えさせようとしているのかを考え、全体で交流する。</p>	思	<p>○ 思：ワークシート 行動観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私」に描かれている登場人物の設定の意味を考え、それぞれの人物の情報に対する捉え方の違いなどから、作者が読者に何を考えさせようとしているのを捉えることができる。 <p>★学習用語「設定」 学習用語の習得 ☆協働的な学び</p>
追	1	<p>◎「私」の解説文を書くために自分にとって必要な情報を集めることを通して、作品に対する理解や情報に対する自分の考えを深めることができる。</p> <div data-bbox="261 965 699 1043" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>解説文を書くために自分にとって必要な情報は何だろう。</p> </div>	<p>○「学びナビ」を活用し、「記号」と「象徴」の違いについて理解する。</p> <p>○「私」について書かれた論文や個人情報に関する書籍などを参考に、個人情報と個人の関係の捉え方に対する自分の考えをまとめる。</p> <p>○解説文の作成に向けて、登場人物の設定や物語の展開の意味を踏まえて、自分の考えと集めた情報を整理する。</p>	態	<p>○ 態：振り返り 行動観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人と情報に関する自分の考えを深めるために、自分の課題に合った情報を集め、解説文を書く際に生かそうとしている。 <p>☆個別最適な学び</p>
まとめる	1	<p>◎物語の設定や現実社会における個人情報の課題点を踏まえて「私」を解説する文章を書くことを通して、作品の価値について自分の考えを深めることができる。</p> <div data-bbox="261 1469 699 1603" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>現実社会と比較しながら「私」の解説文を書き、情報と個人の関係について自分の考えをもとう。</p> </div>	<p>○解説文の観点と構成を確認し、「私」について解説する文章を書く。</p> <p>○書いた文章をロイロノートで共有し、感想や意見などのコメントを書き合う。</p> <p>○他の班の人にも紹介したい文章を選び、紹介したい理由とともに全体で発表する。</p> <p>○単元を振り返り、物語の設定に着目して読み進めることで、分かったことや次に生かしたいことなどを考える。</p>	思	<p>○ 思：解説文 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を批判的に読みながら、根拠となる部分を基に考えたことを明確にし、作品の価値について論じることができる。 <p>★学習用語「設定」 学習用語の活用 テキストの再読</p>

5 本時の展開 (3/5)

(1) 目標

「私」「若い女性」「女性司書」の特徴的な相違点や共通点に着目し、それぞれの人物の設定にはどのような意味があるのかについて考えを交流することを通して、作者が読者に何を考えさせようとしているのかを捉えることができる。

(2) 展開

学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点及び支援・評価
<p>1 前時の活動を振り返り、本時の課題をつかむ。</p> <p>○登場人物の性格や特徴をベン図にまとめた活動を振り返る。</p>	<p>○前時に生徒がタブレット端末で作成した人物像の図を教師が印刷しておくことで、本時の課題である登場人物の設定の意味を考える活動が充実したものとなるようにする。</p>
<p>課題： 作者は登場人物の設定を工夫することで読者に何を考えさせようとしているのか。</p>	
<p>2 三人の登場人物の相違点や共通点を整理し、登場人物の設定の意味を考える。</p> <p>○三人の人物の特徴的な相違点や共通点を明らかにする。</p> <p>○どの登場人物に共感できるのかを考え、全体で理由を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「二重の情報」に対する捉え方に三人の特徴が表れているな。 ・「女性司書」のように情報を信頼する考えを否定できないからこそ、「若い女性」の抱える不安も理解することができるな。 <p>3 作者が読者に何を考えさせようとしているのかを考える。</p> <p>○作者の意図を全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私」を男性として設定することで、他の二人と対比しやすいように工夫している。 ・情報に対する捉え方の違う人物を設定することで、情報と個人の関係を考えさせようとしている。 ・情報で個人を規定することの問題や怖さ、危険性について読者に考えさせようとしている。 	<p>○「二重の情報」に対する捉え方や、個人と実体のどちらを重視するのかといった特徴的な相違点や共通点を話合いの観点とすることで、物語の中心に関わる登場人物の設定について十分に考えられるようにする。</p> <p>○情報と個人の関係の捉え方を全体で共有することで、「若い女性」は、個人情報（記号）により実体の存在が脅かされる不安を抱え、「女性司書」は、情報は個人の記号であると信じて疑わない、「私」は実体としての存在を絶対視する人物として描かれていることを理解できるようにする。</p> <p>○どの登場人物に共感するのかをGoogleスライドの共有シートに名前を表すことで、話合いの観点を焦点化させて考えを交流することができるようにする。</p> <p>○各登場人物がどのような人物として設定されているのかを基に作者の意図を考えさせることで、本文の叙述を根拠に自分の意見をもつことができるようにする。</p> <p>○作者の意図が登場人物の設定に表れていることをおさえた上で、場面の設定や題名についても考えるよう伝えることで、様々な視点から「私」に描かれている世界観を捉えることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>「私」に描かれている登場人物の設定の意味を考え、それぞれの人物の情報に対する捉え方の違いなどから、作者が読者に何を考えさせようとしているのを捉えることができる。（ワークシート・行動観察）</p> </div>
<p><まとめ・振り返り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報と個人のどちらを尊重・信頼するかに着目すると、「女性」は個人、「司書」は情報、「私」はどちらかという個人となっていることが分かり、この作品は、読者に対しても情報と個人がどのような関係にあるかを考えるように工夫されているな。 ・三人の登場人物は情報に対する捉え方の違いから、それぞれの考えが直面する問題があるが、語り手「私」はそこに気づいていない人物として設定されることで、読者に私を証明することの困難さを考えさせるきっかけを与えてくれる作品となっているな。 	
<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>○どのように読み取り作者の意図を考えたのかを振り返る。</p>	<p>○振り返りシートを記入する時間を設定することで、生徒一人一人が、学習内容だけでなく、どのように学んだのかについても考えられるようにする。</p>
<p><「学びの質」を高めるための具体的な手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習用語」を身に付ける活動とテキストの再読を結び付けた単元の設定 ・デジタルシンキングツールを活用した思考の可視化の工夫 	